

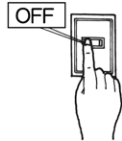
お手入れ

- お手入れの際や、ランプの交換の際は、必ず電源を切ってください。

*感電の原因となります。



必ず守る



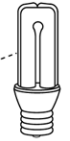
- 必ず指定のランプをご使用ください。

*指定以外の電球を使用しますと、器具の異常過熱などにより火災の原因となります。



必ず守る

40W
まで
電球形
蛍光灯



- 器具の点灯時および消灯直後は、ランプが非常に熱くなっておりますので、触らないでください。

*やけどの原因となります。



接触禁止



器具のお手入れ

- センサーが汚れていますと、誤動作したり動作しない場合がありますので、定期的にセンサーを掃除してください。

- 器具が虫やほこりなどで汚れましたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けんに浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

*石けんとは、天然油脂を原料としたものです。(商品表示が"石けん"であることを確認してください。)

- みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけないでください。

*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



禁止



仕様

定格電圧	消費電力	適合電球	待機消費電力
交流100V	9W	日立ナイスボールV EFD10EL(E-17)	約0.6W

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5256

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00~19:00(365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介しますことができます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

取扱説明書

保存用

日立蛍光灯器具

RBW1633H

(人検知センサー付ポーチライト)

HITACHI
Inspire the Next

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
 - お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保存してください。
- 工事店様へ この取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

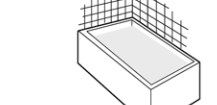
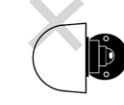
●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

警告



禁止

- この器具は、壁面上向き取り付け専用の防雨形器具です。このような場所には、取り付けない。
- *防水性能が保てなくなり、火災や感電の原因となります。



下向き取り付け

取り付け面が狭い

横向き取り付け

取り付け面が凸凹

浴室などの湿気の多い場所



禁止

- 器具にホースで水をかけたり、器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
- *感電の原因となります。



必ず守る

- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。
- *素人工事は危険です。また、法律で禁じられています。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品を変更して使用しない。
- *火災や感電、故障の原因となります。



必ず接続

- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。
- *アースが不完全な場合は、感電の原因となります。



禁止

- 器具に布や紙・ポリ袋などをかぶせない。
- *過熱し火災の原因となります。



必ず守る

- 器具に異常を感じた場合、速やかに電源を切る。
- *工事店・販売店・ご相談窓口のお客様相談センターにご相談ください。

注意



禁止

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
- *過熱し火災の原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。
- *器具落下の原因となります。
- 調光器(当社商品名: ライトロール)との併用はしない。
- *過熱し火災の原因となります。



必ず守る

- 必ず指定のランプを使用する。
- *過熱し火災の原因となります。
- お手入れの際や、ランプ交換の際は、必ず電源を切る。
- *感電の原因となります。



接触禁止

- 点灯時及び消灯直後は、ランプが非常に熱くなっているので、触らない。
- *やけどの原因となります。

各部の名称と使いかた

取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した図を使用しています。

取り付け前のご注意

- センサーの検知性能をより確実にするため、器具の取り付けの際は、「センサーの検知範囲について」の項目をよくご覧の上、取り付けてください。
- 次のような場所には、取り付けないでください。



■配線について

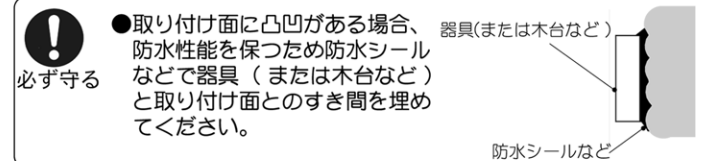


壁スイッチがないと・

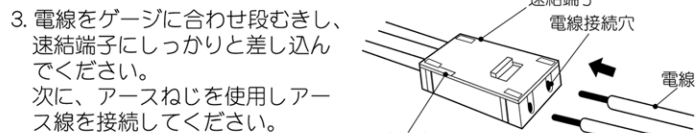
- センサーによる点灯モードに異常が発生したとき、設定状態に戻すことができません。
- 長時間使用しない時、電源を切ることができません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用した場合、パイロットスイッチが正常に動作しません。スイッチをONにしても照明器具が消灯状態の時は、パイロットスイッチ表示が点灯しません。(故障ではありません)

器具の取り付け

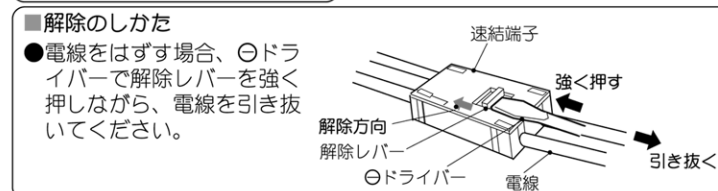
1. 取り付け板の取り付け穴を使用して、付属の木ねじで補強材のある所に付けてください。



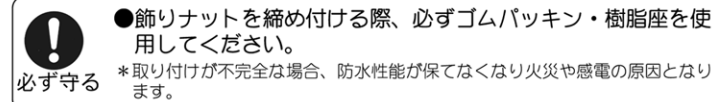
2. グローブとランプをはずし、飾りナットをゆるめ、取り付け板を本体からはずしてください。次に、取り付け板の電源穴に電線を通しアースねじを上向にして、付属の木ねじ2本で補強材のある所に付けてください。



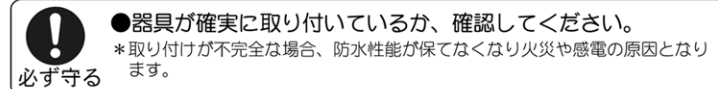
3. 電線をゲージに合わせ段むきし、速結端子にしっかりと差し込んでください。次に、アースねじを使用しアース線を接続してください。



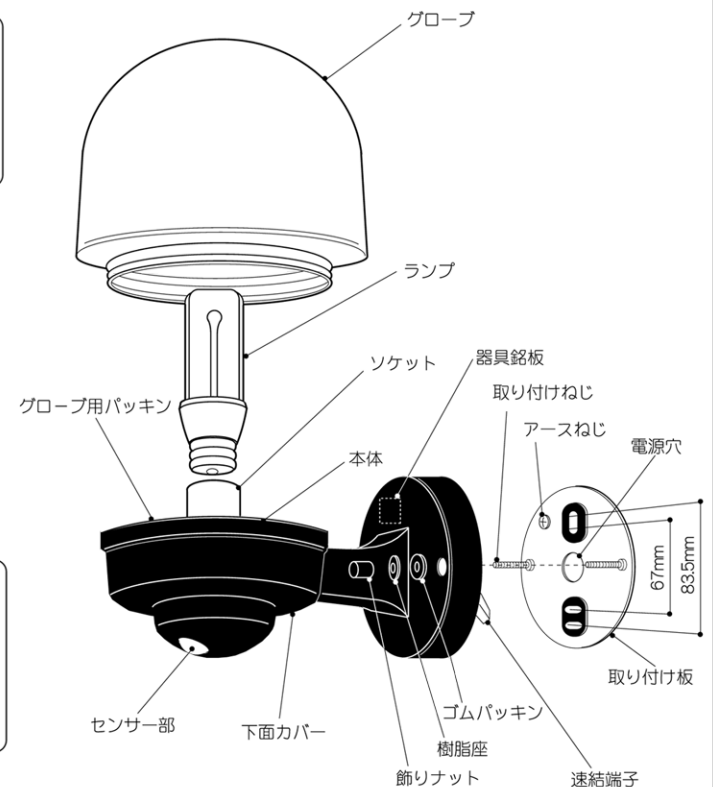
4. 本体を取り付けねじに通し、飾りナットでしっかりと締め付けてください。



5. ランプをソケットに取り付けたのち、点灯確認を行なってください。次に、グローブを本体に入れ右方向に回してしっかりと取り付けてください。

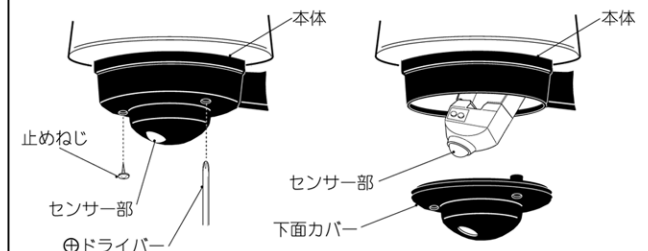


6. センサー部をご使用になる位置に合わせ、検知範囲を決めてください。(センサー部の位置は、水平方向で約90度ずつ回転できます。)



■センサーを設定する場合

- 下面カバーの止めねじを、Φドライバーではずしてください。
- センサーの設定のしかたを参照し、お好みの設定を行なってください。



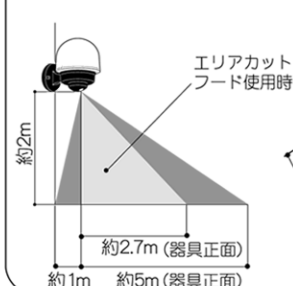
- 設定後センサー部に下面カバーを取り付け、止めねじをしっかりと止めてください。

センサーについて

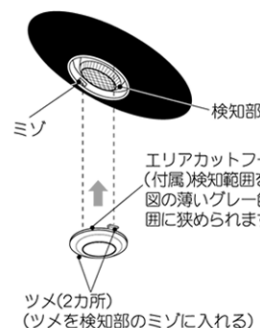
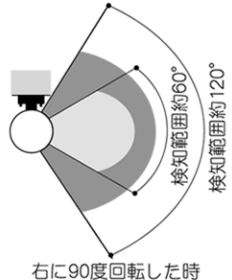
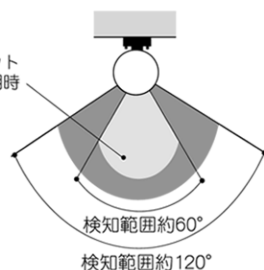
■センサーの検知範囲について

●センサーはおおよそ下の範囲で検知します。図の範囲を参考に器具を取り付けてください。

垂直方向



水平方向



■このセンサーは人の動きなど温度変化を検知しています。次のような現象でもセンサーの異常ではありません。

- ・静止している人は、検知できません。
- ・夏場など人体の表面と床面との温度差が小さくなると、検知範囲が小さくなります。
- ・人以外でも急激な温度変化があると、検知範囲に人がいなくても点灯する場合があります。
- ・器具中心に向かってまっすぐ近づいた場合、上記検知範囲より近づかないと検知しない場合があります。

■センサーの設定のしかた

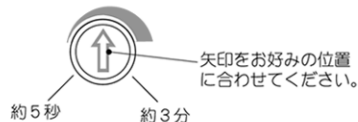
●調整ツマミを使用状態にセットしてください。

調整つまみをまわし、人を検知し始める明るさ、点灯保持時間を設定してください。



点灯保持時間調整ツマミ

人が検知範囲からいなくなる。または、静止してからの点灯時間を調整することができます。



点灯する周囲の明るさ調整ツマミ

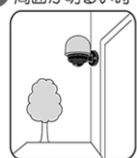
人を検知し始める明るさを調整することができます。



・「明るめ」側(右方向)に回すと、明るい場合でも人が検知範囲に入ると、点灯します。

点滅動作

周囲が明るい時



消灯

周囲が暗くなると



消灯のまま

人が検知範囲にいますと



点灯

人がいなくなると



消灯

ご使用上のご注意

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によりキシミ音が発生する場合がありますが、器具の異常ではありません。

故障かなと思われたとき・・・

- センサー検知動作に異常があると思われる場合は、壁スイッチをOFFにし5秒以上待ったのち、再びONにしてください。
- 正常に戻らない場合は、下記の点検を行なってください。

現象	考えられる原因	処置
検知範囲に人がいるのに点灯しない。	●壁スイッチがOFFになっている。 ●ランプがソケットに正常に取り付いていない。 ●周囲の明るさが、調整ツマミで設定した明るさより、明るい。 ●ランプの寿命。	●壁スイッチをONにする。 ●ソケットに確実に取り付ける。 ●点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「明るめ」側(右方向)に少しまわす。 ●新しいランプと交換する。
検知範囲が小さい。	●検知範囲が適切でない。(エリアカットフードがついている) ●検知部が汚れていたり、水滴がついている。 ●周囲温度が高く、人体との温度差が少ない。	●センサー部分を左右に回し、検知範囲を調整する。(エリアカットフードをはずす)(センサーの検知範囲についてを参照してください。) ●検知部を柔らかい布で傷つけないように拭き取る。 ●本センサーは人の動きによる温度変化を検知するため検知しにくいことがあります。
検知範囲に人がいないのに点灯する。	●検知範囲内に、人以外の熱源がある。(例)・白熱灯照明器具・風などでよくゆれる物(カーテン・樹木など)・太陽光	●本センサーは、温度変化を検知するため、人以外の熱源で温度変化があった場合、センサーが反応することがあります。この場合故障ではありません。 ●エリアカットフードを使用し検知範囲を狭める。(検知範囲に熱源が入らないように範囲を狭めてください) ●設定時間後、消灯することを確認する。
人がいなくなってもなかなか消灯しない。	●電源を投入した直後(停電直後)。 ●点灯保持時間が長く設定されている。	●点灯保持時間調整ツマミを左に回し、時間設定を変更する。
周囲が明るいのに点灯する。	●周囲の明るさ設定の、調整ツマミが「明るめ」になっている。	●点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「暗め」(左方向)に回す。
検知範囲に人がいるのに消灯する。	●人が静止している。	●静止している人は検知できません。

●万一、処置した後になお異常が生じた場合、直ちに電源を切り工事店または、販売店に器具の形式(器具銘板に表示してあります)・故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。